

令和3年度 根室振興局農村振興課安全パトロールを実施



カラーコーン等による作業区域の分離措置

安全パトロールには、建災防釧路分会の瀧場安全指導者（小針土建(株)総務部長）、根室振興局からは農村振興課長、各工事係長など8名が参加しました。現場事務所にて工事監督員、中村・秋山北海JVの現場代理人より地区概要・現場管理状況の説明を受け、「保安対策」や「交通安全対策」など5つの点検項目について書類と現場の点検を行いました。

【実施現場】

- ① 海岸保全 茶志骨第2 1工区 (標津町)

講評で農村振興課長からは「漁期を考慮した制約も終わり、これから大型クレーンによる護岸工事が本格化する。日没が日々早まり、寒さも厳しくなることから、普段はできている安全確認が疎かになりがちになる」と、無事故・無災害での完成に向け働きかけました。

また、建災防瀧場安全指導者からは「これから冬期特有災害の発生リスクが高まること」、「バックホー用アタッチメントの交換時における重量表示の措置」、現場で使用予定のグラウト材がレスコンを念頭に「化学物質リスクアセスメント等、労働衛生環境のさらなる向上へのお願い」について種々の説明がありました。



冬期特有災害発生リスク等への注意喚起

令和3年11月11日（木）、根室振興局農村振興課が発注する工事現場において安全パトロールを実施しました。工事現場を直接視察し、建設工事の安全確保及び労働環境の改善を図ることを目的として、例年、実施しています。今年からの新たな取組として、より有意義なパトロールとなるよう、根室管内建設業協会のお力添え・ご助言もあり、建設業労働災害防止協会（建災防）にもご同行いただいたの実施となりました。



今後、作業が本格化する大型クレーン

秋の工事繁忙期に入り、現場での労働災害事故が全道で複数発生しています。事業者はもとより、すべての関係者が一丸となって労働災害撲滅に向け、今一度、安全衛生活動の原点に立ち返った総点検と労働災害防止の徹底が必要です。

農村振興課では、農業農村整備事業の計画的な推進のためにも、毎年度、各工事現場が無事故・無災害で終われるよう、より一層の安全対策や安全衛生教育等の取組を積極的に進めていく考えです。